



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

UN75
2020 AND BEYOND

SHAPING
OUR
FUTURE
TOGETHER



© UN Photo/Loey Felipe



© UN Photo/Mark Garten

上智大学国際協力人材育成センター 年次活動報告書2020

SHRIC

Sophia University
Human Resources Center
for International Cooperation



国際協力
人材育成センター



2020年度 年次活動報告書の刊行にあたって センター所長 植木 安弘

上智大学国際協力人材育成センター（SHRIC）は、2015年7月の創設より、国際協力の分野で活躍できるグローバル人材の育成を目標として精力的な活動を続けてきています。センターの活動は一般公開しているため、本学の学生をはじめ、一般社会人、他大学、高校にいたる幅広い参加者を得ています。

2020年度は、コロナ禍により一部の活動や対面でのイベントが出来なくなった反面、オンラインを活用したイベントや公開講座には、東京近郊以遠の地域からも多くの方が参加するようになり、これまでにない新たな活動形態が生まれました。本学恒例の「アフリカWeeks」(5月)や「国連Weeks」(6月)は開催が見送られましたが、代わりに上智大学特別シンポジウム「コロナ禍と国連」が多くの参加者を得て7月に開催され、センターも初のオンラインイベントをサポートしました。

第14回「国連Weeks」(10月) (全てオンラインでの開催) では、第3回となる「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」を主催しました。本センターのアドバイザー・ネットワーク・メンバー 11人を含む12人の参加により、2日間にわたる6回のセッションを行いました。また、2019年10月逝去された元国連難民高等弁務官で本学名誉教授の緒方貞子先生のメモリアルシンポジウム「多国間主義と人間の尊厳を求めて」(10月24日国連デーに開催) や他の企画をサポートしました。本シンポジウムは、国内、海外より1000人を超える大勢の方にご視聴いただき、大変盛況なイベントとなりました。

「国連職員と話そう！」企画は計3回行われ、本センター廣里恭史教授(元アジア開発銀行首席教育専門官)をはじめ、国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所副代表(法務担当)、元国連世界食糧計画(WFP)上級プログラム政策官にご講演いただきました。

春と秋2回開催される国際公務員養成コースと同英語コース、緊急人道支援講座も全てオンラインにて開講しました。また、本年度秋には新たにバンコク国際機関実務者養成コース：社会開発分野(オンライン講座)が開設されました。これら合わせて日本国内、海外(南米や香港など)からこれまでにない150人を超える数の受講者となり、学生に交えて多くの社会人の参加がありました。本年度の受講者の中からは、ジュネーブの国際機関のポストに中途採用された方が出ています。

センターの出版事業「グローバル・キャリアのすすめ」の第4弾として、センター所員浦元義照著「格差と夢」を刊行しました。国際機関での豊富なキャリアがハイライトされています。

コロナ禍により国際協力分野で活躍できる人材育成の必要性が浮き彫りとなりましたが、当センターでは、グローバル人材の育成を通じてさらに国際社会に貢献できるように尽力しています。

2020年度の活動

国際公務員養成コース

「国際公務員養成コース」と「国際公務員養成英語コース」は開設以来4年目となります。本年度は、コロナ禍により春と秋の2回初めてのオンラインコースとして、各12セッションを平日の夜間と土曜日を利用して行い、日本国内外より、多くの社会人や学生に参加いただきました。センター所長の植木安弘教授がコーディネーターを務め、養成コースは、元国連事務局、ユニセフ、世銀などで人事官を務められた方々、外務省の国際機関人事センター室長などが講師を務め、英語コースは、国連事務局で長年勤務され、英国で英語教員の資格を持つアン＝マリー・アイバネス氏が担当しています。なお、例年8月にニューヨークの国連本部で開催される「実務型国連集中研修プログラム」は、中止といたしました。二つのコースを2020年秋に受講した方が、ジュネーブにある武器貿易条約(ATT)事務局に採用されました。2019年に受講した方の中からも、国連事務局や国連人口基金に採用された方が出てきていますので、徐々に成果を挙げてきています。



国連本部

© UN Photo/Manuel Elias



講師(左から)
アン＝マリー・アイバネス氏、茶木久美子氏、玉内みちる氏

オンライン講座「バンコク国際機関実務者養成コース：社会開発分野」

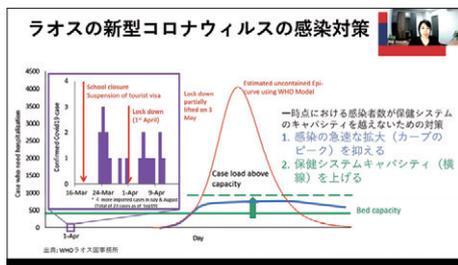
本講座は、国際機関などでのキャリア形成を目指す社会人や学生を対象とし、当センターと本学がバンコクに設立した教育事業会社Sophia Global Education & Discovery (Sophia GED)との共同で2020年度秋期に開講しました。当センター所員でグローバル教育センター教授兼Sophia GED代表取締役の廣里恭史氏がコーディネーターを務め、オンラインコースで、平日の夕方週2回、計10回行われ、社会人を中心に40名の参加者がありました。国際機関は、2030年までの「持続可能な開発目標(SDGs)」達成への取り組みを強化しており、中でも教育、保健衛生、労働、社会政策、移民・難民、社会インフラ整備、等の社会開発分野は、2030年以降も継続的な取り組みが必要とされ、高度な専門性を持つ実務者の養成が望まれます。バンコクに集積する社会開発分野の国際機関を中心に、現役・元職員講師による講義は、それぞれの国際機関が取り組む課題のみならず、実務的な知識・スキルとキャリア形成にかかる各講師の実体験を踏まえた臨場感に溢れた内容となり、毎回活発な議論が交わされました。



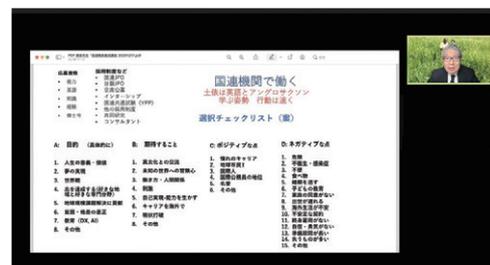
チラシ



コーディネーター：廣里恭史上智大学教授



世界銀行 間崎恵美子氏による講義



浦元義照上智大学特任教授
(元ILOアジア太平洋地域総局長)による講義

緊急人道支援講座

今日、世界中で起きている人道的危機(紛争、自然災害、感染症など)への対応が急がれています。2019年度より開講された緊急人道支援講座は、緊急人道支援に取り組むための基礎的知識やスキルを身に付け、その後のキャリアに生かしてもらうことを目的としています。講座は、春学期と秋学期の平日夜にオンラインにて行われました。講義と演習を組み合わせ、効果的な学びを得られるように工夫されています。春学期・秋学期ともに定員25名を超える応募があり、民間企業や援助機関、大学院生など多様な背景を持った受講生が学んでいます。講座は総合人間科学部教育学科の小松太郎教授がコーディネーターとなり、元国連WFPの忍足謙朗氏とJQAN講師の木村万里子氏をアドバイザーに迎え、NGOや国連、赤十字、民間機関等から経験豊富な講師陣が体系的カリキュラムに沿って講義を行いました。受講者の中には早速緊急人道支援の仕事に就く方や、受講終了直後に現場に赴く方もおり、講座での学びが役に立っているようです。



© UN Photo/JC McIlwaine



小松太郎教授

忍足謙朗氏

木村万里子氏

国連Weeks等のイベント

7月4日

シンポジウム (オンラインにて開催)

上智大学特別シンポジウム「コロナ禍と国連」

(上智大学主催、国際協力人材育成センター協力)

コロナ禍において国際協調とマルチラテラリズムを基調とする国連は、どうこの状況に対処すべきか、国連開発計画 (UNDP)、国連人口基金 (UNFPA) 日本事務所トップによる最新報告も踏まえ、共に考える機会としました。

《国連Weeks10月》

9月30日

【ブレ企画】シンポジウム

ILOグローバルセミナー「デジタル経済における仕事のより輝かしい未来に向けて」

(上智大学、国際労働機関 (ILO) 主催、厚生労働省、日本経済団体連合会、日本労働組合総連合会、日本ILO協議会、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン後援)

10月12日

シンポジウム

国連75周年企画「グローバル課題の解決に向けたグローバルな行動～感染症、地球温暖化、軍事紛争」

(上智大学主催、人間の安全保障研究所、グローバル教育センター、国際関係研究所、国際協力人材育成センター共催、国連広報センター協力)

10月24日

シンポジウム

緒方貞子先生メモリアルシンポジウム「多国間主義と人間の尊厳を求めて」

(上智大学主催、国連広報センター協力)

国連創設75周年の国連の日を記念し、緒方先生の功績を振り返るとともに、国連関係者や専門家と交え、人間の尊厳や多国間主義における国連の役割について議論しました。

国連Weeks 10月24日 シンポジウム
緒方貞子先生メモリアルシンポジウム「多国間主義と人間の尊厳を求めて」



上智大学特別シンポジウム「コロナ禍と国連」



国連Weeksパンフレット



キャリアイベント

《10月19日-20日 オンライン・キャリア・セッション 「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」(第14回国連Weeks)》

国際機関や国際協力分野におけるさまざまなフィールドの第一線で活躍されている本センターのアドバイザー・ネットワークの方々をゲストに迎え、2日間にわたり計6回のセッションをオンラインにて開催しました。(所属機関名および役職名は開催日現在で記載しております)

基調講演：「UNHCRで働くということ～私の人生の選択 難民とともに」

Working for refugees in UNHCR - a life choice

カレン・ファルカス氏 (国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日代表)



UNHCR ファルカス氏



《10月19日》(オンライン)

セッション1：カレン・ファルカス氏 (国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日代表)

焼家 直絵氏 (国連世界食糧計画 (WFP) 日本事務所代表)

セッション2：佐藤 摩利子氏 (国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所長)

森 臨太郎氏 (国連人口基金 (UNFPA) アジア太平洋地域事務所

人口高齢化と持続可能な開発に関する地域アドバイザー)
(※ UNFPAアジア太平洋地域事務所より特別ゲストとしてご参加いただきました)

セッション3：山下 真理氏 (国連政治平和構築局アジア太平洋部次長) (ニューヨークより参加)

隈元 美穂子氏 (国連訓練調査研究所 (UNITAR) 持続可能な繁栄局長兼広島事務所長) (広島より参加)

(モデレーター) 植木 安弘 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、国際協力人材育成センター所長)

《10月20日》(オンライン)

セッション4：村上 由美子氏 (経済協力開発機構 (OECD) 東京センター所長)

近藤 哲生氏 (国連開発計画 (UNDP) 駐日代表)

(モデレーター) 植木 安弘 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、国際協力人材育成センター所長)

セッション5：花尻 卓氏 (アフリカ開発銀行 アジア代表事務所長)

宮崎 成人氏 (世界銀行グループ駐日特別代表)

(モデレーター) 山崎 瑛莉 (上智大学グローバル教育センター嘱託講師)

セッション6：高梨 寿氏 (一般社団法人 海外コンサルタンツ協会顧問)

川上 千春氏 (公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟事務局長)

(モデレーター) 小松 太郎 (上智大学総合人間科学部教授)

「国連職員と話そう!」(オンライン)

好評企画の「国連職員と話そう!」、オンラインにて計3回開催しました。国連Weeksの企画やキャリアセミナーとして一般公開もされました。国連職員への道はそれぞれですが、キャリア形成、各機関の取組み、実際の業務内容などについても経験豊富な方々よりお話を伺うことができました。また、セミナー開催前より事前に質問をいただき、皆さまに活発に参加いただける場となりました。

〈2020年〉

6月：川内 敏月氏	国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所副代表 (法務担当) (国連が定める「世界難民の日」6月20日に開催しました)
10月：廣里 恭史 (国連Weeks)	上智大学グローバル教育センター教授、 Sophia GED代表取締役、元アジア開発銀行主席教育専門官 (Sophia GED：上智学院がバンコクに設立した事業会社)
11月：佐藤 由佳子氏	国際リーダーシップ・コーチ、 元国連世界食糧計画 (WFP) 上級プログラム政策官



川内氏による講演会 (6月「国連職員と話そう!」)



10月国連Weeksにて
(廣里教授による講演会)



佐藤氏による講演会
(11月「国連職員と話そう!」)

「ラウンドテーブル」(オンライン)

国際協力への道もさまざまです。「国際機関への道のりを考える：留学と就職、卒業生の視点から」と題し、上智大学ロシア語学科卒業、センター所員の菅原友香国際教養学部准教授と上智生によるラウンドテーブルを開催しました。世界につながる第一歩を共に考える大変貴重な機会となりました。

〈2021年〉

2月：菅原 友香 上智大学 准教授、元国際協力機構 (JICA) 専門調査員 (ベトナム担当)



出版事業



【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.1】
世界銀行ダイアリー：グローバルキャリアのすすめ
2018年4月発行
著者：鈴木博明
：上智大学国際協力人材育成センター客員所員/元世界銀行主席都市専門官
発売所：丸善出版株式会社



【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.2】
歴史に生きる 一國連広報官の軌跡：グローバルキャリアのすすめ
2019年1月発行
著者：植木安弘
：上智大学総合グローバル学部教授 国際協力人材育成センター所長/元国連広報官
発売所：丸善出版株式会社



【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.3】
国際緊急人道支援のキャリアと仕事
一人の命と生活を守るために：グローバルキャリアのすすめ
2020年4月発行
著者：国連機関、国際協力機関、国際協力NGOなどから13名が執筆、
小松太郎 上智大学総合人間科学部教授
(グローバル教育センター長/国際協力人材育成センター所員)が編集
発売所：丸善出版株式会社



最新刊

【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.4】
格差と夢
一恐怖、欠乏からの解放、尊厳を持って生きる自由
国連の開発現場で体験したこと：グローバルキャリアのすすめ
2021年4月発行
著者：浦元義照
：上智大学特任教授
国際協力人材育成センター所員
元UNICEF、UNIDO、ILO職員
発売所：丸善出版株式会社

国際協力人材育成センター 所員

- センター所長 (2021年3月現在)
植木 安弘 (大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)
- センター副所長
東 大作 (グローバル教育センター教授)
- 所員
曄道 佳明 (学長、理工学部教授)
浦元 義照 (上智大学特任教授)
小松 太郎 (総合人間科学部教授、グローバル教育センター長)
柴田 晋吾 (大学院地球環境学研究科教授)
廣里 恭史 (グローバル教育センター教授、
Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. 代表取締役
(Sophia GED: 上智学院がバンコクに設立した事業会社))
まくどなるど あん (大学院地球環境学研究科教授)
丸山 英樹 (総合グローバル学部教授)
菅原 友香 (国際教養学部准教授)
山崎 瑛莉 (グローバル教育センター嘱託講師) 計11名



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY



<https://www.sophia.ac.jp>

国際協力人材育成センター <https://dept.sophia.ac.jp/is/shric/>

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 2号館1F
TEL: 03-3238-4687

(シュリック) SHRIC Facebook <https://www.facebook.com/SophiaHRIC/>

(シュリック) SHRIC Twitter @SHRIC2015

